



2019年11月14日

各位

会社名 ラサ工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 坂尾 耕作  
(コード：4022、東証第1部)  
問合せ先 経理部次長 桐山 知之  
(TEL. 03-3278-3892)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した通期連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,000	2,000	2,000	1,500	189.25
今回修正予想 (B)	30,500	1,700	1,550	1,100	138.79
増減額 (B - A)	△500	△300	△450	△400	—
増減率 (%)	△1.6	△15.0	△22.5	△26.7	—
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	30,999	2,573	2,618	2,274	287.00

### 2. 修正の理由

今後の経済見通しにつきまして、世界経済は、米中貿易摩擦や地政学的緊張の影響によって、先進国、中国・新興国とも経済は減速しており、先行きには強い不確実性があります。このため日本経済も、雇用・所得環境の緩やかな改善は見られるものの、経済の先行きは読み難く、企業経営環境の不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、半導体・電子部品市況の回復が想定より遅れており、化成品事業においては、関連製品の売上は足元においても伸び悩んでおります。半導体・電子機器メーカーの在庫調整は続いており、今年度後半もこうした状況が続くものと想定せざるを得ない状況となっております。また、原料高などによるコストアップもあり、業績は当初予想より下振れするものと予想しております。

機械事業においては、破碎関連機械のプラントが利益率はやや低いものの売上の増加が予定されております。この結果、業績は当初予想に対して増収・やや増益を予想しております。

電子材料事業においては、ガリウムなど高純度無機素材の需要減少による在庫調整が続いており、当初予想より下振れするものと予想しております。

このような見通しを踏まえ、当社グループの通期連結業績予想を、5月15日公表の予想から、売上高305億円、営業利益17億円、経常利益15億50百万円、及び親会社株主に帰属する当期純利益11億円に修正いたします。

(注) 本予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上